

会議録

会議の名称	第8回 西東京市産業振興マスタープラン策定委員会
開催日時	平成22年8月2日（月曜日） 17時30分から19時30分まで
開催場所	西東京市役所 保谷庁舎 別棟C
出席者	委員：水谷、板橋、奥田、斉藤、櫻井、田中、本橋 事務局：西東京市生活文化スポーツ部 産業振興課 宮寺、萱野、宮坂、森野、杉野 コンサルタント：2名
議題	開会 (1) 第7回西東京市産業振興マスタープラン策定委員会議事録について (2) 関係団体ヒアリングについて (3) 施策体系の検討について (4) その他
会議資料の名称	資料1 関係団体ヒアリングについて 資料2 西東京市産業振興マスタープランのまとめ方について（第6回資料） 資料3 施策の体系（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>(1) 第7回西東京市産業振興マスタープラン策定委員会議事録について (事前確認させていただいたところ、期日までに修正要望等はなかったもので、事前確認時のものを議事録として確定し公表する旨、確認した。)</p> <p>(2) 関係団体ヒアリングについて</p> <p>○会長： ヒアリングへの委員の参加は可能か。</p> <p>○事務局： 可能である。</p> <p>○会長： 委員で参加希望の方は、ヒアリングの2日前までに事務局に連絡するように。</p> <p>○委員： インテージは成長している企業であるため、対象に加えたらどうか。</p>	

○事務局：

イメージは、第1次の基本構想・基本計画の施策支援にあたった企業であるため、ヒアリングは難しいと思われる。

○委員：

シチズンへのヒアリングでは、敷地南側の大規模空閑地について、例えば工業団地整備のための用地提供などが考えられるかどうかを聞いて欲しい。

○事務局：

ヒアリングはマスタープラン策定のために行うものであって、個別事案については除外したい。

○委員：

ものづくりの産業振興を考えると、今の土地利用規制では個々の企業での対応は難しい。政策的にできる土地の手当はシチズンのその土地しかなく、市内で唯一工業系土地利用として活かすことのできる貴重な土地である。土地の有効活用について聞くことは個別事案ではない。是非、公式の場で聞いて欲しい。

○委員：

市が計画を持たないまま、公式に打診するのは危険である。しかし聞いてみたい事案ではあるので、フリートーカーなど聞き方を工夫してヒアリングするのが良いのではないか。

○委員：

西東京市で製造業を新たにやろうと思っている人が本当にいるのかということが重要である。西東京市と所沢市で比較すると、地価負担力の点から、製造企業が西東京市に進出することは考えにくく、所沢市に進出するであろう。

○委員：

用途地域からみて、まとまった企業用地を準備できるのは、シチズンのその土地しかない。我々は産業振興方策に携わっている訳であるから聞かないのはおかしい。確認だけでもすべきではないか。

○会長：

どういう可能性があるかということ、聞き方を工夫してヒアリングすることにする。

○委員：

岡田食品へのヒアリングでは、たま鍋について聞いて欲しい。地場産を地元レストランで提供しようという構想があるので、これについて聞いて欲しい。

○事務局：

「2 これまでの成長経緯と今後の課題」のところで聞く。

○委員：

シンエイ動画へのヒアリングでは、コンテンツ関係で、地域で何かやっているのか、今後この地域での展開の可能性あるのかどうかを聞いて欲しい。また、西武鉄道へのヒアリングでは、周辺の他都市とは違い、市内に5つ駅があることをどう思っているか、どのように位置づけているのかについて聞いて欲しい。

○事務局：

シンエイ動画へのヒアリングでは、コンテンツ関係について、「1 市内の事業環境の評価」と「2 市内産業への波及効果」のところで聞く。西武鉄道へのヒアリングでは、5駅について、「1 公共交通機関から見た西東京市の評価について」と「2 市民に開かれた企業について」のところで聞く。

○委員：

西武鉄道へのヒアリングでは、保谷駅の車庫の解体の件について聞いて欲しい。広い空閑地が発生するためどうするか、ここで作業していた人はどうなるのかなどを聞いて欲しい。

○事務局：

シチズンの空閑地の件と同様の方法で聞くことにする。

○委員：

シンエイ動画へのヒアリングでは、市民に受け入れられそうか、地元の需要はあるのかを聞いて欲しい。

○委員：

聞くことに反対はしないが、ローカルな企業ではないため、市内にどれだけ需要があるかは関心がないのではないか。

○会長：

「3 市民に開かれた企業について」のところで聞くのが良い。

○委員：

この関係では、三鷹、杉並、練馬が多く、西東京市はこの次くらいに多いだろう。しかし西東京市はコンテンツ産業の連携のようなものはなく、各々が1つ1つ下請けをやっているのが現状ではないか。今後、連携し新たな産業を生み出す可能性はあるのかも知れない。

○事務局：

シンエイ動画は、西東京市誕生10周年記念で、キャラクターをつくるなど、市とのコラボレーションに取り組んでいる。このため市との関係については発展系にあると考えている。シンエイ動画へのヒアリングでは、なぜ西東京市にとどまっていたかについて

かなどを「1 市内の事業環境の評価」などのところで聞く。

○委員：

三幸交通へのヒアリングでは、高齢者かどうかなど、どういった方がどのような目的でどこに向かわれているかを聞いて欲しい。それで運転手には、どのような聞き方をするのか。

○事務局：

各社にヒアリングする場合は、事前に設問シートを渡して、考えて頂いた上で、ヒアリングに行くという方法で行う。また、当日の回答が不足する場合などは、後日あらためて回答をもらうということも考えている。

○委員：

三幸交通へのヒアリングでは、保谷駅北口の乗り入れが他のタクシー会社も含め総じて少なく、雨が降ったときなどは2時間待ちとなってしまう場合がある。規制緩和による乗り入れ数の増加に関する課題などを聞いて欲しい。

○事務局：

利用者については、「2 利用者の移動特性」のところで聞く。規制緩和については話の流れの中で聞く。

○委員：

西武鉄道へのヒアリングでは、西武鉄道の構想でできあがった東伏見にあるアイスリーナのことについて、チームはなくなり今は滑走と一般利用しかないが、資源として今後どう考えているあたりを聞いて欲しい。

○事務局：

5駅の利用という特性の中で聞きたい。

○会長：

ヒアリングのスケジュールはどうなっているのか。

○事務局：

9月上旬までをタイムリミットと考えている。

(3) 施策体系の検討について

○会長：

今後の委員会で検討するスケジュールはどうなっているのか。

○事務局：

次回の9回では、既往計画からアクションプランになるものについて検討して頂き、10回では、アンケート結果を踏まえ、即効性のある提案があればこれを取り入れ、検討して頂くことを予定している。但し、予算の枠組みがある程度決まっているため、この中

での検討になることについてご了承いただきたい。そして次の11回では全体をまとめ、文面の整理となる。

○委員：

例えば、「経営基盤を強化する」とあり、また「多角化を支援」するとある。どちらかに統一すべきである。主語がはつきせず混乱してしまう。

○委員：

中間のまとめでは、例えば商業・サービスの課題では「地元ならではの魅力を高め、地元の購買力を着実に取り組む」などと記載されているのに、施策の大項目には別のことが記載されており、つながりがなくおかしい。13年後の将来を言う部分であるためもっと抽象的であるのが良い。また、「担い手をつくる」といった進行形の言い回しではなく、13年後に、到達して欲しい姿をイメージした言い回しが良いのではないか。沢山のことはできないので少なくした方が良いと思う。例えば商店街の大項目では、今4つあるのを1つにして、中項目を3つにする位が良いのではないか。

○委員：

商店街でいうと、西東京市における役割、例えば市民への環境の提供などを大項目とするのが良いのではないか。今の大項目は他の都市にも使えるものになっているので、そうではなく西東京市にしか通じない内容とした方が良いのではないか。

○委員：

商店街に「育つ商店街を育てる」というフレーズがあるが、これはこれで良いと思う。やる気のある商店街を活性化することを言外に述べており、行政の立場では苦肉の表現であると思う。

○委員：

中項目はもっと具体的にするのが良い。例えば、「元気を出せ事業」というのがあるが、「それを活用した事業」などにするとか明解にし、具体的な記載の方が良いと思う。未来図が描ければ商店街は勉強すると思う。大項目となる目的は絞った方がよく、方法論は商店街が選べるようにしておくことが望ましい。

○委員：

消費者の立場から教えて欲しい。魅力ある商店街とは、生鮮3品が整った便利な日常的な商店街をいうのか、または、古着屋があるなど特徴的なお店のある商店街をいうのかどちらなのか。

○委員：

これまでモノを売る店の集合体が商店街だった。これからは多面的な機能が求められ、市民や農家の方もそこで一緒に売ることができるような商店街が望まれている。

○事務局：

整理させていただきたい。「活力ある商店街」とはキーワードであり、「魅力ある商

店街」は大項目になり、そのための手立てが中項目という解釈でよろしいか。

○委員：

魅力の方向性は商店街によって異なることを踏まえた大項目として欲しい。

○委員：

中項目の内容はおかしくないと思う。大項目をもう少し工夫して直したら良いかと思う。「…を支援する」という言い回しにするかどうかは、どちらでも良く、どちらかに統一するのが良い。

○委員：

農業関係では、下位計画にあたる農業振興計画と整合がとれていない部分が多い。既に検討され策定されているのだからあわせるべきである。例えば、大項目に「農地を残す」とあるが、反発を買いやすい。相続税対策で困っているときに行政が買ってくれるのかと言われかねない。

○委員：

下位の計画で数値目標をはっきり謳っているのであるから、大項目に置いたらどうか。わかりやすく良いと思う。

○事務局：

大項目は柱として捉えたい。数値は農業振興計画など具体の計画において設定されるものと考えている。農業振興計画から抜粋し出ることになるが、大項目でキーワードとして出てきて、中項目では手立てとして出てくる。そして数値は、これらを説得するための材料と捉えるのが良いのではないか。

○会長：

商店街に関して言えば大項目は、「コミュニティの場となる商店街」とか「地域ごとに特徴ある商店街」くらいが良いのではないか。

○委員：

「商店街組織の体力づくりをする」という大項目があるが、これは13年後はどのような姿になることを言っているのか。また「来やすく、快適な商店街をつくる」というのは曖昧すぎるのではないか。曖昧なら曖昧にし、細かく書くなら細かく書くとどっちかに決めた方が良い。

○委員：

大項目は曖昧でよいのではないか。

○委員：

商店街で言えば、西東京市の場合、市内に5つの駅があるのだから地域と密着して魅力ある商店街になるための活動をするとかを言ったらどうか。今の中項目をうまく活かして（厚めにして）、大項目は西東京市らしさを出す内容にしたらどうか。「活力」と

か「魅力」は、もっと上位の方が良い。

○委員：

ものづくりや農業のところで、「売り上げをあげる」と「経営を安定化する」というのがあるが、同じことではないか。

○事務局：

イメージを共有するため、例えば商店街の項に絞って議論してもらえないか。

○委員：

「商店街」と「商業・サービス」は一緒にできないか。

○委員：

施策の質が違う。商店街は組織に対する施策であり、商業・サービスは個店に対する施策である。このため分けておいた方が良い。

○会長：

大項目は「5駅の地域ごとの特色」とか「コミュニティ」といった切り口で語れないかという意見が出ているが。

○委員：

「5駅周辺の活力ある商店街」と「（それ以外の地域を指すが）地域住民の生活の基盤を守る商店街」という風に2つに分けたらどうか。

○委員：

かつては駅周辺商店街と近隣型の商店街に区分するということがあったが、今はどうだろうか。西東京市の場合はどうなのか。

○委員：

中間のまとめの最後のページに将来像があるが、これが大項目になるのが良いではないか。13年後の姿になるのではないのか。ただし商業・サービスでは、3点目の「買い物や生活の不安が少なくなる」を修正し、商店街の箱をもう1つおくのが良い。

○委員：

将来像の商業・サービスの2点目の「商店街が活発に活動する」というのを「5駅を中心に活力ある商店街」とし、3点目の「買い物や生活の不安が少なくなる」というのを「地域住民の生活基盤を維持する」という風になおしたらどうか。

○委員：

5駅周辺とほかの所を分けるのは差別ではないが、施策がうまく入り込めるかどうか難しいところがある。

○事務局：

今後、事務局でたたき台をつくり、委員に見て頂き、意見をメールやFAXなどでもらい、それを踏まえたものを次回の資料として提出するということにしたい。

○委員：

アクションプランは、できることとできないことを事務局の方で整理してもらい、数を絞って出してもらった方が委員会で効率的に検討できると思う。

○委員：

産業振興プランを打ち出しているながら、予算が同じだというのはおかしい。産業振興しようということで始めたのだから、今の予算プラスアルファで提案するのが良いと思う。削られて元々だ。プラスアルファ分がアイディア勝負と言われたら困ってしまう。

○委員：

この3年間でできることと、長期的にできることは分けるべきである。集中的に有効的な事業を出す、即効性のある事業を出すというのが良い。

○委員：

両委員の言われていることは同じことだと思う。次回、事務局で出されるのであるから、そのとき検討されたらどうかと思う。事務局は枠をはめようと言っている訳ではないと思う。

○委員：

既に農業振興計画に体系があるため、これはあまり変えて欲しくない。振興計画にはない農商工連携については別途定めたら良い。

○委員：

商店街振興プランは、産業振興プランの中に包含されるということで、昨年は見直しを行わなかった。アクションプランの中で施策が出てくるものと認識している。

○事務局：

農業については、農業振興計画の32ページを大項目とし、その下にぶらさがってくるものを体系図のなかから抽出することとしたいと思う。

○会長：

次回は最初に、施策体系の検討を行い、次にアクションプランについて検討する。

(4) その他

第9回委員会日程：9月27日（月曜日） 17:30から

以上